

**障害が重いためにとばを理解できないと考えられていた人々も  
実はことばの世界をもっている！**

**「スイッチ・コム 情報交換会」—障害が重い方たちへのコミュニケーション支援について—  
開催要項**

主催 特定非営利活動法人

フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会

理事長

山田 章弘

[趣 旨] 障害が重く表情にも動きにも感情、意思の動きが見られないと、介護する私自身が決めつけて見過ごす日々ではなかったかと、柴田保之教授の新聞記事「信じて ぼくの言葉」(2012.10.3朝日新聞)をみて心痛くなりました。実践研究の内容を教えてくださいました。一人の問題ではないのではと周囲の人に尋ねてみますと私にとっても課題ですとの返事が多くありました。調べてみますと、特別支援学校の先生方がいろいろなスイッチ等を作成して重度の方とのコミュニケーションに工夫をしていること。福祉の施設でも研究機関と共に模索をしていること等がわかりました。難病関係の人でも、くちマウスを使ってパソコンを操作。筋肉の動きだけで看護師や介護職員をオルゴールメロディでコールすることができたり、パソコンまで操作して活動している方も知ることができました。専門に関わっておられる方にとっては日常のことでしょうし、福祉機器展等では、展示、活用されていることと思いますが、身近なところでも情報を共有して、目の前の重度の人たちとのコミュニケーションを見直し、ニーズを適切に把握していくことができる試みをしてみたいと考えますが如何でしょうか。福祉・教育関係の職員の方のご参加をお誘いいたします。

[日 時] 平成25年3月2日(土) 13:00 ~ 16:50

[会 場] 神奈川県社会福祉会館 第1・2研修室4F

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4番地2 Tel: 045-311-8742

[対 象] 福祉施設と事業所等の介護職員等及び教職員

[募集人員] 80名(申し込み先着順)(参加できない場合は、連絡をさせていただきます。)

[参加費] 1人 500円(資料代)当日受付にて徴収

[オリエンテーション] 13:00 ~ 13:10

[講 演] 13:15 ~ 14:35(80分)

**「障害の重い子どもの内的な言語」**

国学院大学人間開発部初等教育学科 教授 柴田 保之 先生

(休憩 10分)

[事例発表] 14:45 ~ 16:05

1. 学校における取り組み

神奈川県立中原養護学校 教諭 伊藤 元久 様 (20分)

2. 施設における取り組み

(1) 社会福祉法人訪問の家 朋 施設長 生田目昭彦 様 (20分)

(2) 社会福祉法人みなと舎 ゆう 管理者 中田 光子 様 (20分)

3. その他

(1) パシフィック・サプライの機器の展示と説明

(2) 株式会社クレアクト 重度障害者用意思伝達装置マイトビーC15

[意見・情報交換会] 「障害者一人ひとりのニーズを読み取るために！」 16:05～16:45

[機器・器具紹介]

1. コミュニケーション・ツールの紹介

- <パシフィック・サプライ> 1. ピエゾニューマティックセンサスイッチ P P S スイッチ  
2. アイトークウィズレベル  
3. ボイスキャリーペチャラ  
4. レッツ・チャット  
5. ビッグマック他

<株式会社クレアクト>・「重度障害者用意思伝達装置 マイトビーC15」(視線で全てを操作する)

2. 生活の中のコミュニケーション・ツール

[ ※この事業は、赤い羽根共同募金の配分及び公益社団法人程ヶ谷基金の助成を受けて実施しています。 ]

事務局 NPO法人 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4番地2 神奈川県社会福祉会館内  
TEL: 045-311-8742 FAX: 045-324-8985  
Eメール: [jimukyoku@kenshikyou.jp](mailto:jimukyoku@kenshikyou.jp)  
H P : <http://www.kenshikyou.jp/> (担当: 松田、小清水)

※定員 80 名の先着順となります。参加できない場合のみご連絡差し上げます。

なお、締め切りが過ぎても人数に余裕があれば参加できますのでお問い合わせください。

「 スイッチ・コム 情報交換会 」 参加申込書

<参加申込書> Fax 045-324-8985

〆切り日 2月15日(金)

氏 名	職 名	所 属	備 考 重度の方とのコミュニケーションについて日頃感じられていること

法人・事業所名 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_